



# 茜雲

大口高校だより



鹿児島県立  
大口高等学校

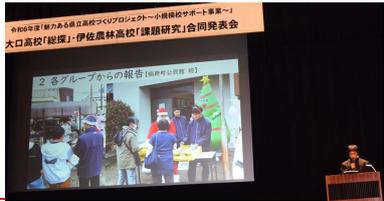
〒895-2511 伊佐市大口里2670

TEL 0995-22-1441 FAX 0995-22-9227

## 総合的な探究の時間「合同発表会」

1月16日、伊佐市文化会館で大口高校の「総合的な探究の時間」と伊佐農林高校の「課題研究」の合同発表会が開催されました。今年も、大口中央中学校と菱刈中学校の2年生全員に加え、多くの市民の皆さまがご来場くださいました。

本校からは、パソコンを使ったラップの作曲、大口高校の活性化に向けた教育活動や学校生活をInstagramで発信する取組、そしてクラス全員で取り組んだ商店街活性化イベントについての活動報告をしました。



## サンタの落とし物

12月26日、若者が減った大口の商店街を活性化するというコンセプトのもと、1年生全員で「サンタの落とし物」を開催しました。

アンファン子ども基地ではピザ作り体験、ミュージックプラザオニツカでは読み聞かせやライブ、そして稲荷町公民館では長ネギの販売など各会場で各種催し物を行い、スタンプラリーを実施するなど循環型のイベントになるように工夫しました。



## いざ出陣!共通テスト

1月18日、19日に行われる大学入学共通テストに向けて、前日の午後に見送られながら出発しました。正門前で行われた出陣式では、吉満校長から「受験会場では冷静に、そして最後の最後まで決して諦めずに頑張ってください。」と激励の言葉がかけられ、3年生の楠元悠大君の音頭でエールを送り、出発しました。

2次試験や私立大学の入試に向けて頑張っている皆さん、体調管理をしっかりして最後まで頑張ってください。



## 総探の収益を歳末助けあい募金へ

総合的な探究の時間で「金山ネギの普及と広報」に取り組んでいる2年生の男子4人が、夏に菱刈田中の大塚聖作さんの畑に植え付けたネギの収穫作業を行いました。

また、鹿児島中央駅前のアミュ広場で開催された「かごしま食育フェスタ」で販売した規格外の金山ネギの売上げを、伊佐市社会福祉協議会を通して「歳末たすけあい募金」に全額寄付しました。



## 完全燃焼!クラスマッチ

12月23日、2学期のクラスマッチが開催され、男女ともバレーボールで熱戦を繰り広げました。優勝は、男子が2年1組、女子が2年2組でした。



また、昼食時には毎年恒例の音楽部によるミニコンサートが催されました。クリスマスソングを中心に心温まる演奏を披露してくれました。



## 鬼武蔵TADAMOTO 忠元

「チームちむどん」結成10周年記念、そして3年生の三重優仁君にとっては卒業公演ということでいやが上にも期待が高まった「鬼武蔵TADAMOTO 忠元」公演。昨年引き続き、芙蓉役の吉永実央さんとの息もぴったり。さらに、細川幽齋を演じた永山裕都君を始め1・2年生が脇を固めてくれました。

公演を見にきていた塩田康一県知事は、終了後に三重君と吉永さんに「みんなの熱演に感動しました。」と感想を述べられました。



## For Others

南日本新聞元日号の「黒ゾカ」に、本校に在籍している同姓同名の女子生徒が取り上げられました。

2人は、学年も違うし親戚でもないのに、ほとんど接点はありません。でも、いつもクラスメイトのことを気にかけて、笑顔でみんなを元気にしてくれるところは共通しています。

さて、今年も伊佐農林高校との合同発表会を開催しました。合計9本の研究発表が行われましたが、いずれの研究や取組も自分たちの興味関心からスタートし、最後は地域や社会のためになるテーマばかりでした。最近では、自分さえよければという考えの人もいるようですが、自分のことだけでなく周りの人々の幸せを考え行動する姿に感銘すら覚えました。こうした時代だからこそ、自分のことと同じように自分の生まれ育った故郷に思いを巡らせ、伊佐を明るく元気にしてくれる人材を育てるのは、やはり地元の大口高校の使命だと改めて心に誓った次第です。 校長 吉満庄司



# 「ふるさと歴史講座（山野線と伊佐の繁栄）」要旨その3

今月号では、11月6日～30日に開催した「大口高校ふるさと歴史講座」の第5回目、特別講演会、閉講式の要旨を紹介します。



【第5回目】11月26日(火)18:00～20:00

講師：東川 隆太郎 先生（かごしま探検の会 代表理事）

鹿児島県内の歴史や地理の視点を中心に、普段見慣れている景色の中に地域資源を見いだす「まち歩き」活動を行い、ガイドや講演活動を通じて鹿児島の魅力を発信している。志学館大学非常勤講師や鹿児島大学法文学部付属「鹿児島の近現代」教育研究センター客員研究員を兼任。NHKでは大河ドラマ「西郷どん！」の史料取材協力や「プラタモリ」への出演、MBCでは「どんかご」や「ててて」などを中心に、さまざまなテレビやラジオに出演している。

## テーマ：「鹿児島の鉄道史における伊佐の鉄道」

鹿児島で最初に鉄道の必要性を説いたのは幕末の名君・島津斉彬でした。実際の鹿児島県における鉄道の歴史をみると、まず明治34年に鹿児島駅～国分駅（現在の隼人駅）の営業開始に始まります。その後、鹿児島本線や日豊本線そして南薩鉄道が順次開通していきます。山野線については、大正10年に栗野駅～山野駅に山野軽便線が開通し、昭和12年に水俣駅まで繋がって全面開通となりました。宮之城線は、大正13年に川内駅～樋脇駅で営業が始まり、山野線と同じ昭和12年に薩摩大口駅まで全面開通しました。

郷土誌などを読むと、鉄道施設に向けた地元の誘致の状況や見えてきますし、当時の苦労なども窺い知ることが出来ます。レジュメに掲載した時刻表をご覧ください。これだけの列車が人と物を載せて薩摩大口駅を中心に走っていました。しかし、各路線の「取扱実績の推移」や「営業係数の推移」の資料から読み取れることは、慢性的な大幅赤字です。これが回復の兆しが見えない中で、宮之城線が昭和62年に、山野線も翌年には廃止を迎えることとなります。しかし、山野線と宮之城線のレガシー（遺産）を活用しない手はありません。伊佐の皆さん、真剣に考えてみませんか。



【第6回目】特別講演会 11月30日(土)14:00～16:00

講師：桐野 作人 先生（歴史作家）

出水市出身。立命館大学文学部を卒業後、歴史関係出版社の編集長を経て編集プロダクションを設立。歴史研究家で歴史作家。史料を徹底的に読み込み、実際に現地に赴いて取材する手法は定評がある。武蔵野大学政治経済研究所の客員研究員を兼任。現在、南日本新聞に「かごしま街道見聞記」を連載中。専門は戦国時代と幕末明治維新で、前者には『関ヶ原 島津退き口』や『島津義久』など、後者には『さつま人国誌 幕末・明治編』や『曙の獅子』などの著書がある。

## テーマ：「五代友厚と寺島宗則～西洋を体験した2人の鹿児島県人が進めた明治日本の近代化～」

五代友厚と寺島宗則は、薩摩藩ではめずらしく世界を視野に入れ開明的な思想を持つ武士でした。薩摩藩の教育という「郷中教育」が有名ですが、この2人はさらに若い頃に長崎で学ぶ機会に恵まれました。ここが他の薩摩藩士と違うところです。薩英戦争後の慶応元(1865)年、2人は大口木之氏領主である新納久脩を団長とともに薩摩藩英国留学生一行を率いてイギリスに渡りました。寺島は、イギリス外務省と外交交渉を行い、五代は団長の新納と一緒にマンチェスターなどを回り武器弾薬・紡績機械等の購入に奔走します。ベルギーやフランスにも渡り、モンブラン伯爵との間でパリ万博への出展やベルギー商社の設立についての仮契約を結びます。

この2人が帰国後、外交と経済の分野で明治日本の礎を築いていきます。五代は経済の基盤整備のため、大阪商法会議所（大阪商工会議所）、大阪株式取引所、造幣寮、大阪商業講習所（大阪市立大学）の設立など、49歳の若さで亡くなるまで大阪を拠点に精力的に活動しました。寺島は、外務卿として明治初期の外交の中心として活躍したことはよく知られていますが、その他にも電信事業にも多大な功績を残し“電信の父”とも呼ばれています。

## 閉講式

第6回（特別講演会）終了後、池畑知行県議会議員、森元裕樹伊佐市副市長の御臨席のもと閉講式を行いました。

閉講式では、まず主催者を代表して本校PTAの別府会長が挨拶をし、続いて来賓の池畑県議より御挨拶をいただきました。引き続き、6回すべて出席された受講者一人一人に、吉満校長からステージ上で「皆勤賞」が手渡されました。特に、大口高校OBで鹿児島市に在住の海老原純一さんは、昨年度から3シリーズの講座を全て受講し、しかも毎回皆勤賞でした。

最後に吉満校長から、「本当は、今年度は7月に新納忠元をテーマに実施したので、今回は実施する予定はありませんでした。しかし、生徒が総合的な探究の時間で山野線に関する素晴らしい研究を行ったので、彼らに多くの聴衆の前で発表する機会を作ってあげたいと考え、急遽実施することになりました。予算が全くない中での講座ですので、講師の先生方には誠に申し訳なく思っています。特に、本日特別講演していただいた桐野先生には十分な謝金どころか東京からの交通費すら支払えない現状で恐縮しています。」と、開催に至る経緯など本音を語りました。さらに、「前例がないから、予算がないから、そして面倒だからしない方がいいという考えでは何も始まりません。これからも、地域の皆さまに愛され信頼される学校づくりを進めてまいります。今後とも、皆さまのご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。」と締めくくりました。



## 受講者の感想

受講後のアンケートの中から、いくつかご紹介いたします。

- ・「大口町鳥瞰図」は初めて知りました。市の広報誌などでも紹介したらどうでしょうか。
- ・高校生の発表がよかった。自分が高校生の時はそんなことを考えたこともなく通学していた。大口高校生、頑張れ！
- ・このような市民講座を開催してくれる大口高校は市民の誇りです。校長先生のアイデア、行動力に感謝です。
- ・毎回、豪華な講師陣で驚きました。伊佐にしながらこうした質の高い講座を受講できるとは思っていませんでした。
- ・高熊山の近くに住んでおり、昔はよく畑で銃弾を拾いました。次は西南戦争や西郷隆盛についての講座をお願いします。